
日本放送協会 理事会議事録

(平成30年 5月29日開催分)

平成30年 6月15日(金)公表

<会議の名称>

理事会

<会議日時>

平成30年 5月29日(火) 午前9時00分～9時20分

<出席者>

上田会長、堂元副会長、木田専務理事、坂本専務理事、
児野専務理事・技師長、松原理事、荒木理事、黄木理事、菅理事、
中田理事、鈴木理事、松坂理事、今井特別主幹
高橋監査委員

<場所>

放送センター 役員会議室

<議事>

上田会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

1 審議事項

(1) 職務権限事項等の改正について

2 報告事項

(1) 技研公開2018実施結果について

(2) 考査報告

議事経過

1 審議事項

(1) 職務権限事項等の改正について

(経営企画局)

職務権限事項等の改正について、審議をお願いします。

今回は、職務権限事項と一般職（Sグレード）権限・名称に関する規程についての改正です。

第1に、職務権限事項についてです。平成30年度組織改正に関する項目については、情報システム局の業務体制の再編や視聴者総局視聴者コミュニケーション推進室の設置、国際放送局の業務体制の再編、本体技術部門の計画機能強化に向けた体制の整備、放送技術研究所の業務体制の再編に合わせた職務権限の整備を行います。

また、制度の変更や業務実態等を踏まえて、職務権限事項の整備および字句修正などを行います。

第2に、職務権限事項の見直しに伴い、一般職（Sグレード）の権限や名称に関する規程を改正します。

本件が決定されれば、一部を除き、30年6月8日付で実施します。

(会長) ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

2 報告事項

(1) 技研公開2018実施結果について

(放送技術研究所)

2018（平成30）年度の放送技術研究所（技研）公開の実施結果について、報告します。

今年の技研公開は5月22日～27日で、そのうち24日～27日の4日間は一般に公開しました。来場者は6日間を通して、昨年より306人多い、2万500人でした。

今年は、「よりリアルに、スマートに、あなたとつながる」をテーマに、「NHK技研3か年計画（2018－2020年度）」（以下、「技研3か年計画」）の3つの柱である「リアリティーイメージング」、「スマートプロダクション」、「コネクテッドメディア」に沿って、①「より臨場感・実物感の高いコンテンツを届けるための技術」、②「AI（人工知能）で効率的に番組を制作する技術」、③「インターネットを活用

してユーザー体験を向上させる技術」について、24項目の研究成果と5項目の体験型の展示を実施しました。また、展示の数を昨年よりも厳選し、各ブースの説明員とスペースを充実させました。

順路の始めには、「技研3か年計画」の概要と、テーブル型や携帯型の3次元ディスプレイでもコンテンツを楽しめる、2020以降の家庭のリビング（イメージ）を展示しました。

講堂の8Kシアターでは、「NHKバレエの饗宴2018」や「ピョンチャン・オリンピックフィギュアスケート」などの8Kコンテンツを上映し、フレーム周波数120Hzのフルスペック8Kの、動きによるぼやけが少ない超高精細映像と、22.2マルチチャンネルの3次元音響を来場者に体感していただきました。

このほか、24日には、暦本純一氏（東京大学教授／ソニーコンピュータサイエンス研究所副所長）らによる基調講演も大変盛況でした。

来場者からのアンケートでは、講演に対して「将来の夢とそれを実現する技術の裏付けが聞けて大変良かった」、展示に対して「今年はテーマがはっきりしていて、昨年が増えて分かりやすく魅力的だった」などの感想をいただきました。

（2） 考査報告

（考査室）

平成30年4月16日から30年5月23日までの間に放送した、ニュースと番組について考査した内容を報告します。

この期間に、国内放送番組では、ニュース19項目、番組93本の考査を実施しました。

ニュースの主な項目としては、韓国と北朝鮮が10年半ぶりの首脳会談を行い、朝鮮半島の非核化を南北の共同目標とすることで合意したこと、史上初となる米朝首脳会談が、6月12日にシンガポールで開催されることになり、北朝鮮の非核化に具体的道筋をつけることができるかどうか焦点になること、新潟市の小学2年の女の子が殺害された事件で、遺体を遺棄した疑いで逮捕した男は殺害への関与も認める供述をしたこと、財務省の福田淳一事務次官が、女性記者へのセクハラ発言の報道により、辞任したことなどがありました。

番組では、1949年からの15年の間の改憲か護憲かの攻防を通し

て、日本人の歩みを見つめた、NHKスペシャル「憲法と日本人～1949-64 知られざる攻防～」(5月3日放送)、メールをきっかけに、番組の公式SNSでの情報提供により得られた当事者の声と内部文書から実態に迫った、クローズアップ現代+「郵便局が保険を“押し売り”!?～郵便局員たちの告白」(総合・4月24日放送)、又吉直樹さんが暮らしの中の何気ない不思議を解き明かしていく新番組「又吉直樹のへウレーカ!『“腹の虫”って何のムシ?』」(Eテレ・5月9日)、「寄り道の気ままさ」と「運動の爽快感」を楽しみ、ふだん気づかない街の姿に出会う新番組、「ふらっとあの街 旅ラン10キロ『都電沿線 桜ラン』」(BSプレミアム・4月18日)などの番組を考査しました。

また、国際放送では、外国人向けテレビ国際放送「NHKワールド JAPAN」のニュース4項目と番組2本の考査を実施しました。考査したのは、「KANSAI 地域の魅力を発信」として、和歌山、奈良、滋賀の3県の歴史、文化、自然の魅力を紹介し、人々の暮らしや地域の課題を中継キャラバンで伝えた「NEWSLINE」(日本時間4月16・18・20日放送他)や、日本発の“世界的ヒット”の開発秘話をインタビューや再現ドラマを交え紹介した日本のものづくりの裏側を伝える番組、「JAPAN'S TOP INVENTIONS『Shinkansen』」(日本時間4月19日放送)などです。

考査の結果、これらの一連のニュース・番組は、放送法、国内番組基準、国際番組基準等に照らし、妥当であったと判断します。

(荒木理事) 新潟の女兒殺害事件の報道についてですが、NHKでは、自主的な編集判断に基づいて速報スーパーを出しています。いずれにしても正確で迅速であることがニュースの基本でありますので、しっかりとした方針にそって今後も進めていきます。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

平成30年 6月11日

会 長 上 田 良 一